

## 審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和5年度 第2回甲州市環境審議会
開催日時	令和6年1月12日(金) 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	甲州市役所 2階 第1会議室
議題	(1) アンケート調査及び事業者ヒアリング結果について (2) 甲州市環境基本計画及び甲州市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)の策定について (3) 基本方針について (4) 計画策定スケジュールについて (5) その他
出席委員	内田 智之 会長、瀧澤 康雄 副会長、 雨宮 正明 委員、藤巻 眞史 委員、 萱原 春美 委員、平井 万里 委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	環境課 4名 (廣瀬課長、森リーダー、土屋リーダー、窪田)
その他	

令和5年度 第2回甲州市環境審議会 審議概要（開催日：令和6年1月12日）

<p>内容</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) アンケート調査及び事業者ヒアリング結果について</p> <p>(2) 甲州市環境基本計画及び甲州市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の策定について(3)基本方針について</p>	<p>次第に基づき以下のとおり進められた。</p> <p>事務局開会</p> <p>○内田智之会長あいさつ</p> <p>議長：内田会長</p> <p>○株式会社静環検査センター アンケート調査及び事業者ヒアリング結果について。</p> <p>質疑</p> <p>○内田会長 質問ではないが、中学生のアンケート結果で、「宣言をしたのならしっかりやってほしい」とあり、大人としての責任を感じた。</p> <p>○株式会社静環検査センター 甲州市環境基本計画及び甲州市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の策定について、基本方針について。</p> <p>質疑</p> <p>○瀧澤委員 深刻な環境問題である地球温暖化の防止を含んだ、目指す環境像を設定した方がよいのでは。</p> <p>○事務局（森リーダー） アンケートの結果を受けて設定した。今回の審議会に出た案を反映させたいと考えている。</p> <p>○株式会社静環検査センター 地球温暖化防止の内容を含めるのであれば、昨年度のゼロカーボンシティ推進事業計画の将来目標を参考にするのはいかがでしょうか。</p> <p>○平井委員 能動的な表現が入るとよいと思う。</p> <p>○内田会長 過去30年の平均気温と比較し、昨年の気温は約4℃上昇していた。この異常事態を受け、目指す目標像はゼロカーボンに重きを置いてよいのでは。</p> <p>○瀧澤委員 国連事務総長が「地球温暖化」に代わり、「地球沸騰化」と表現をしていた。市民の認識を変えるためにも、より厳しい表現に置き換えてはどうか。</p>
---	---

○事務局（森リーダー）

前向きに検討する。全てを置き換えるのは難しいので、強調する目的で一部「地球沸騰化」の文言を使用する方向で進めたい。

○瀧澤委員

基本方針資料 p9 ごみの排出抑制の項目で、海洋プラスチックごみを減量するため、ごみの河川への流入防止に関する内容を含めていただきたい。

○事務局（森リーダー）

内容を反映した一文を追加する形を検討する。

○内田会長

街中の自販機にはゴミ箱が併設されていないケースがあるが、自販機を設置する際にゴミ箱も設置し、商品を補給する際にはゴミも回収するようなシステムが構築できないだろうか。

○事務局（廣瀬課長）

条例があるので、検討する。

○平井委員

区域施策編の再エネ導入シナリオで、太陽光発電の導入を進めるとあるが、再エネポテンシャルの数字や、現状の増加ペースの数字があるとわかりやすいと思う。

○株式会社静環検査センター

再エネポテンシャルなどの情報に関して、基礎情報での整理を検討させていただく。

○瀧澤委員

市民・事業者・市が協働するような環境保全活動は既に行われている。「促進します」ではなく、「さらに取り組んでいきます」のような文言に訂正いただきたい。

○事務局（森リーダー）

内容を反映する形で検討する。

○内田会長

計画内で提案されている内容について、具体的な主体、目標、課題が明確でない。今後どのように進めていくのか。

○事務局（廣瀬課長）

具体的な数値などを設定することは難しいため、大まかな内容を示したうえで、各関係機関と連携を図り、推進していく。また具体的な施策として、出前授業やリサイクルステーションの設置などを実

<p>(4) 計画策定スケジュールについて</p>	<p>施しているため追記する。</p> <p>○事務局（土屋リーダー） 5R は現状とかけ離れているため、3R に訂正させていただく。</p> <p>○平井委員 CO2 削減に関しては、住民にとって身近な電気から取り組まれると思われる。発電事業者としても、化石燃料の使用量を減らす取り組みを行っているため、ご家庭で化石燃料の使用量を減らすような取り組みを啓蒙できるとよいと感じた。</p> <p>○内田会長 再エネの導入には送電網や大型蓄電池の設置が課題の一つではあるが、そのあたりはいかがか。</p> <p>○平井委員 再エネは基本的に地産地消・自家消費を推進している。これにより送電網不足の影響が軽減できる。大型蓄電池は研究段階であり、今後の技術革新に期待したい。</p> <p>○内田会長 農業における 4 パーミル・イニシアチブなど、さらなる推進が必要に感じる。</p> <p>○藤巻委員 手間がかかり、メリットが少ない印象を受ける。農家だけでは進まないため、炭を買い取る仕組みづくりなどが必要。</p> <p>○雨宮委員 アンケート結果について、周辺環境の満足度が、中学生よりも一般の方が低いのはいかがなものか。</p> <p>○株式会社静環検査センター 年齢を重ねるにつれて、生活水準や視点が変化するため、そのあたりが影響していると思われる。また中学生は情報に対する感度が高いため、甲州市の良さを認知しやすいことも推測できる。</p> <p>○事務局（森リーダー） 回答状況や条件も異なるため、一概に比較することはできない。一般の回答率が 51.3%と高い割合であったことは、市内の環境に対して高い関心を持っていることを示している。半分以上の方にお答えいただき、我々としては非常に嬉しい。</p> <p>○内田会長 パブリックコメントはホームページで公表されるのか。また、周知は広報誌でも行うのか。</p>
---------------------------	---

<p>(5) その他</p>	<p>○事務局（森リーダー） ホームページに加え、本庁舎・支所でも掲示する予定。広報誌は締め切りに間に合わないため、ホームページで周知する。</p> <p>○事務局（森リーダー） 令和4年度よりゼロカーボンに関する補助事業を行っており、今年度分の予算については、大半が予算上限に達したことをご報告させていただく。</p> <p>○内田会長 来年度の予算は計上しているのか。</p> <p>○事務局（森リーダー） 計上している。3月の定例会で審議される。</p> <p>○内田会長 再エネの設備導入にはコストがかかるため、このような事業は重要だと思う。</p>
----------------	---